

I. 支部長挨拶	P2
II. 支部事業		
1) 市民講座	P3~7
2) 講演会	P8~10
3) 支部見学会	P11
III. 学自研事業		
1) 各校独自イベント	P12~16
2) 学生フォーミュラ	P17~20
3) eモータースポーツ大会	P21



株式会社いすゞ北海道試験場 取締役 中島 繁則



北海道支部会員の皆様、
自動車技術会諸活動に対するご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。
皆様のご協力により、今年度支部事業は、いずれも成功裏に開催できました。
新型コロナによる行動制限も解除となり、市民講座・見学会・講演会等、
対面開催が再開でき、現場現物・対面の手応えと有効性を再認識した年度となりました。

また、今年度は支部変革へのチャレンジとして以下の新体制にて運営して参りました。
◇学自研参与の支部理事統合 ◇各理事への支部機能移管
前者の体制により、各学校担当理事が明確となり、情報交流の活性化が促進できました。
新たな取り組みである各学校単位での見学会を含む学自研行事も積極的に開催でき、
学生会員数の大きな増員に繋がりました。
後者に関しては、早い段階で支部行事内容と主に運営頂く理事を選任、依頼しておくことで、
主体的に準備が進められ、円滑な開催を実現できたものと思います。
以上の成果より、これら新体制運営を次年度も継続していきますので、よろしくお願い致します。

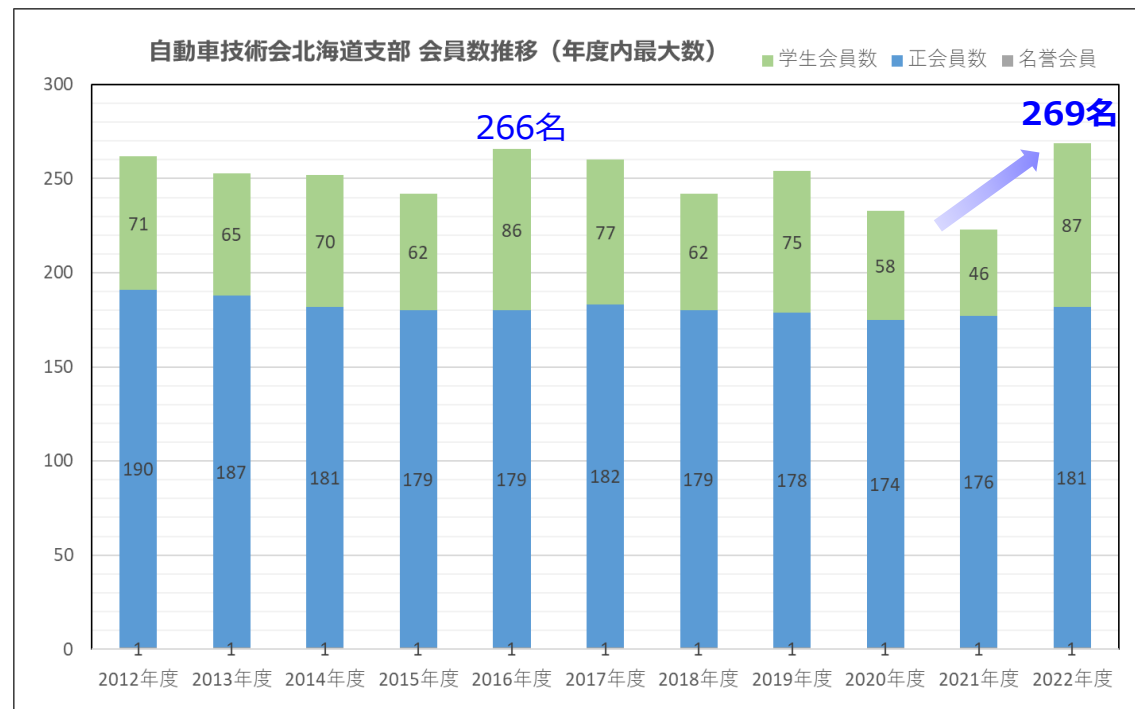
最後に、支部の最重要課題と位置付けた支部会員数の推移に関し、報告致します。
添付グラフは過去10年間の年度内最大会員数の推移をまとめたものです。
特徴として、正会員数は180名前後で安定傾向、学生会員数が大きく変動しています。
過去10年においては、2016年度の266名が最大会員数となりますが、
本年度は、入会キャンペーンと学自研活動を背景に、各学校理事より積極的な募集活動が
進められ、結果として10年来の最大会員数を更新し、269名とすることができました。
本紙面をお借りし、改めて御礼申し上げます。

北海道支部は小規模ではありますが、支部の基本方針に基づいた活発な活動が
実施できているものと考えております。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

【表彰】

自動車技術会北海道支部の支部事業、学自研事業への功績・功勞に対し
以下の方が受賞致しました。おめでとうございます。

	氏名(敬称略)・所属	功績・功勞
自動車技術会フェロー 称号授与	吉田 雄二 トヨタ自動車北海道	・前北海道支部長としての支部運営 ・企業理事としての支部行事開催 等
学自研功勞賞	林 諒亮 旭川工業高等専門学校	・市民講座、企業見学会の開催支援 ・学生F,EMスポーツへの積極参加 等
	西原 颯良 北海道自動車整備大学校	・市民講座、企業見学会の開催支援 ・EMスポーツへの積極参加 等



【まちなかキャンパス2022_旭川工業高等専門学校】

開催概要

- ・日 時：2022年6月18日(土)-6月19日(日)
- ・開催方法：旭川デザインウィーク まちなかキャンパス内で出店
- ・内 容：同イベント内でグランツーリスモ・レーシングカート
学生フォーミュラ車両・マイクロEVを展示し車の
楽しさを伝えた
- ・参加人数：24人(出店者), 1000人(訪問者)

開催報告

- ・学生フォーミュラ・レーシングカートを展示, 試乗をしてもらい, 幼稚園児, 小中学生に車に触れ合ってもらった
- ・学生の作ったマイクロEV車両を展示し, 旭川高専の低学年から高学年までのクルマづくりへのかかわり合いを紹介した
- ・グランツーリスモで遊んでもらい, 車の運転の楽しさを伝えた
- ・低学年の子供に車に親しんでもらえた. 車に乗って楽しそうにしている姿を見るとクルマのもっている力を感じた.



【キッズエンジニアin北海道自動車整備大学校2022】

開催概要

- ・日 時：2022年10月2日10:00～15:30
- ・対 象：小学1～6年生 各20名（保護者同伴）
- ・内 容：燃料電池車のキットカーの組立
燃料電池車MIRAIや先進安全自動車の展示
くるまの点検・整備体験
- ・参加人数：24名+保護者

開催報告

- ・当日は季節外れの暖かさで汗ばむ陽気になり午前16組、午後8組(2組が欠席)のご家族が参加して頂きました。
水素を活用した燃料電池車の説明からキットカーの組立・走行と実車MIRAIの展示、先進安全自動車の展示や働くクルマやスポーツカーを視て頂きました。点検・整備体験では車の下回りやタイヤ、ライト回りの点検をして最後はキッズエンジニアの認定証を渡しました。



【くるま未来体験教室】

開催概要

- ・日 時：2022年10月15日(土)10:00～15:45
- ・内 容：燃料電池キットカー組み立て・走行
講師：高貝 良浩（北海道自動車整備大学校）
車両見学：トヨタ「MIRAI」、いすゞ「GIGA」
自動運転キットカー教室（関東支部）
- ・開催場所：札幌市エレクトロニクスセンター

開催報告

- ・北海道自動車整備大学校の高貝先生による「燃料電池自動車の仕組みについて」の講義と、北海道自動車整備大学校の学生スタッフによる「燃料電池キットカー組み立て・走行」を行いました。
- ・トヨタ自動車北海道株式会社様より「MIRAI」、いすゞ北海道試験場様より「GIGA」を展示していただき、お子様はGIGAの大きさや動きに驚き、保護者様は初めて見るMIRAIに感動していました。



燃料電池キットカー組み立て・走行



車両見学：いすゞ「GIGA」



車両見学：トヨタ「MIRAI」

【キッズエンジニアinトヨタ自動車北海道2022】

開催概要

- ・日 時：2022年10月23日(日) 9：30～15：30
- ・対 象：小学1～6年生(保護者同伴)
※キッズプログラミング教室のみ小学5.6年生が対象
- ・内 容：
 - ・キッズプログラミング体験教室(午前午後 各10人)
 - ・プーリーカーで変速の仕組みを学ぼう(午前午後各24人)
 - ・MIRAIの試乗,車両展示
(ラリー車(カローラスポーツ、ヤリス),C+pod,MIRAI)
- ・参加人数：130人

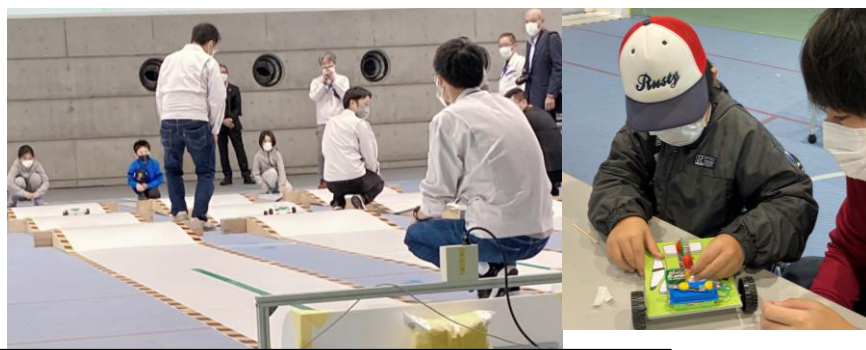
開催報告

・「キッズプログラミング体験教室」と「プーリーカーで変速の仕組みを学ぼう」のイベントは午前と午後の2部に分けて開催しました。プログラミング、自動車の仕組みを学び、体験してもらいました。プログラミングは実際に仕掛けを動かし、楽しみながら学んでくれました。プーリーカーは製作試走し変速の仕組みを学び、どちらも大変好評を得ました。

・MIRAIの試乗と車両展示では、全世代の方が多くの質問をされていて車に興味を持って接してくれた一日でした。



キッズプログラミング体験教室



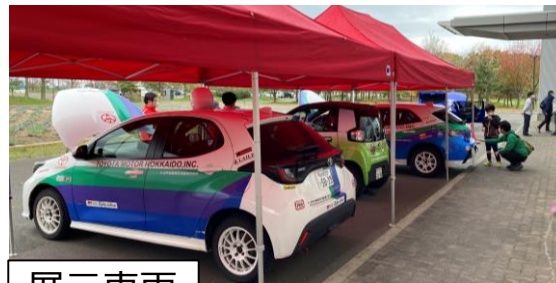
プーリーカーで変速の仕組みを学ぼう



集合写真



MIRAI試乗会



展示車両

クルマの科学にふれながら、楽しく学べる！

キッズエンジニア inトヨタ自動車北海道2022

- ・開催日時…2022年10月23日(日)
- ・開催場所…トヨタ自動車北海道株式会社
住所：北海道苫小牧市字勇弘145-1

①キッズプログラミング体験教室

キッズ SUS
70分体験教室

工場でも使われているSIOコントローラでプログラミングを体験してみよう！

②プーリーカーで変速の仕組みを学ぼう

サイズが異なるプーリーを組み合わせて変速する原理を学ぼう！

③燃料電池自動車MIRAIの試乗 展示

- 試乗
 - ・燃料電池自動車MIRAI
 - ・C+pod
 - ・エコカーを体験しよう！
- 展示
 - ・ラリーカー(カローラスポーツ、ヤリス)
 - ・C+pod
 - ・燃料電池自動車MIRAI

自動車技術会北海道支部 supported by SUS株式会社

自動車技術会北海道支部



【キッズエンジニアin旭川工業高等専門学校】

開催概要

日時：2023年3月18日8(土)

内容：小学生(一部中学生)に向け，キッズエンジニアin旭川高専と題し，

- ・CADを使ったミニ自動車のモデリングとミニカーの作成(SolidWorks Japan様)
- ・燃料電池自動車の組み立て
- ・学生フォーミュラの見学 等を行った。

開催報告

- ・近隣の小学校を中心に24人の小学生(一部中学生)と，保護者に参加いただいた
 - ・ミニカー作成では出来上がったミニカーをコースで走らせたりCADを使ったモデリング手法
 - ・CO2排出と温室効果，燃料電池自動車の仕組み等を学び車に親しんでもらった。
- アンケートではとても楽しかったとの意見を多数いただいた



ミニカーのモデリング



燃料電池自動車の組立て

学生フォーミュラの見学

【地方講演会_北見工業大学】

開催概要

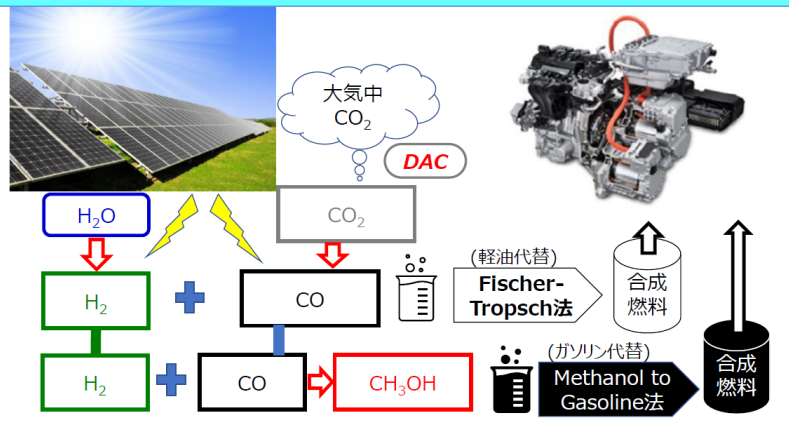
- ・日 時：2022年10月21日(金)17:00~18:00
- ・開催方法：対面とオンライン(Webex)のハイブリッド開催
- ・対面会場：北見工業大学 多目的講義室
- ・演 題：「Carbon Neutralに向けた
自動車用合成燃料に関する調査」
- ・参加人数：64名（会場55名，オンライン9名）



講師：
自動車技術会 大気環境技術・評価部門委員会
オブザーバー
元 日産自動車株式会社 岡山 紳一郎 氏

☆脱石油燃料：合成燃料とは

- ・再生可能エネルギーで作られた電力で水を分解して水素を作り、空気中のCO₂を捕集(DAC: Direct Air Capture)し、化学反応させて作る液体燃料を合成燃料という。
- ※合成燃料は、市場に存在する既存のICE車でもCarbon Neutralが実現できる。



出典：自技会,岡山,2022. 3. 8. 大気環境技術評価部門委員会、話題提供から改変

開催報告

- ・電気自動車（BEV車）の普及に期待が集まっていますが、再生可能エネルギー由来の電力の確保に加え、電池に使用されるレアメタル資源に制約があるなど、BEV車の現実課題について説明がありました。
- ・Carbon Neutralと再生可能エネルギーの蓄積を両立する一つの解が合成燃料であり、合成燃料の製造技術や燃料特性、商業ベースに乗せることを目指した開発の課題等についてご講演いただきました。

合成燃料の課題解決に向けた各技術者・研究者の役割

- ・合成燃料は、既販のICE車を含めたCNに貢献し、かつエネルギー需給コントロールも兼ねた選択肢の1つである。
- ・合成燃料の実現には自動車技術者と化学・燃料技術者、発電技術者、3者の努力で、商業ベースに乗せることを目指し、開発する必要がある。

1) 自動車技術者：

- ・合成燃料の燃料規格に対する要求の具現化。
- ・内燃機関の効率向上

2) 化学・燃料技術者：

- ・合成燃料プラントの高効率化
- ・DACの高効率化
- ・グリーン水素の高効率化
- ・MtG/EtG、FT技術等の触媒選定、燃料規格に適合するプラントの運転条件設定と、適切なブレンドによる低コストでの燃料規格適合

3) 発電技術者：

- ・安定供給が可能な再生可能エネルギー発電の具現化

出典：自技会,岡山,2022. 3. 8. 大気環境技術評価部門委員会、話題提供

【地方講演会_室蘭工業大学】

開催概要

- ・ 日 時：2022年11月10日(木)16:15~17:45
- ・ 開催方法：対面とオンライン(Webex)のハイブリッド開催
- ・ 対面会場：室蘭工業大学 C108 講義室
- ・ 演 題：「自動車の動力伝達について
"押しブロック式 (ハイブリッド) 金属ベルトCVT"
~動力伝達メカニズムの『本質』をかえりみる~」
- ・ 参加人数：35名 (会場30名, オンライン5名)

講師：

本田技研工業株式会社 四輪事業本部 ものづくりセンター
 パワーユニット開発二部 小型ドライブユニット開発課
 高木 佑太 氏
 同 エキスパートエンジニア 金原 茂 氏

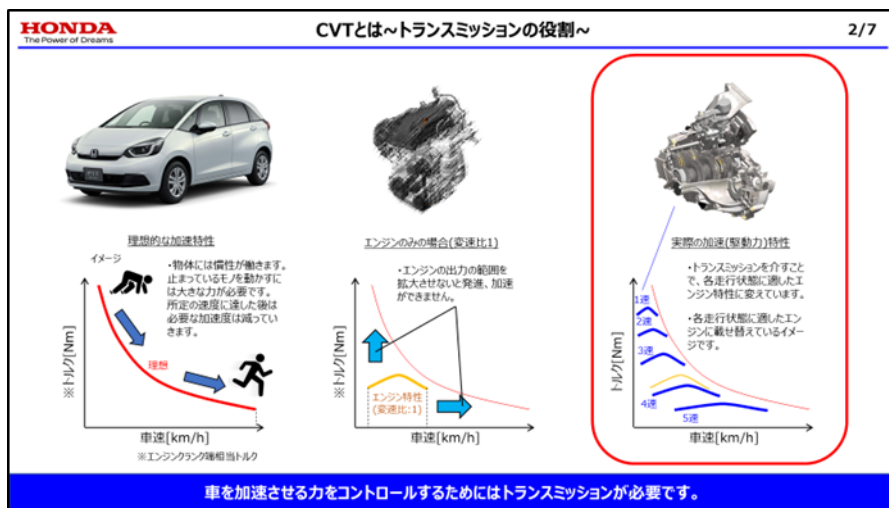


高木 氏



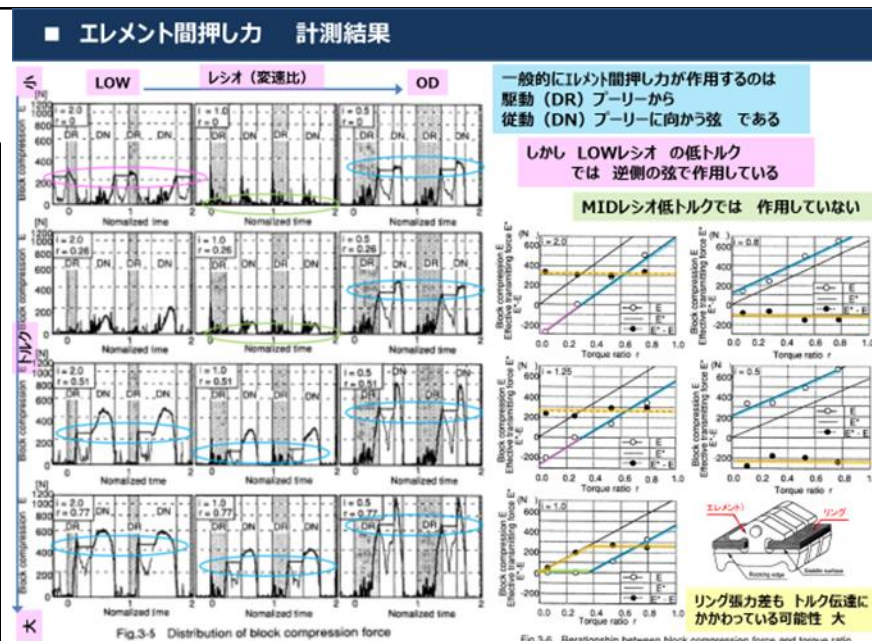
金原 氏

※講演資料より抜粋



開催報告

- ・ 自動車の電動化が急速に進んではおりますが、内燃機関搭載車の販売と活躍は、今後数十年は続くと考えられます。内燃機関駆動に不可欠な変速機と内燃機関の動力特性、車速の関係について、分かりやすく解説頂きました。
- ・ 内燃機関の特性と車体が必要とする動力をベストにマッチングさせる金属ベルトCVTの動力伝達の本質を、詳しく解説頂きました。一見単純な構造に思えますが、金属ベルトの個々のエレメントやリングに働く力は大変複雑であり、その現象を実験と計算の両面で解き明かしてホンダでのベルトCVT内製を実現した技術の基礎の一端を熱く語って頂きました。



【航空自衛隊長沼分屯基地】

開催概要

- ・日 時：2022年12月3日(土)08:20～16:00
- ・内 容：集合 札幌駅北口→移動 自衛隊バス→見学 航空自衛隊長沼分屯基地→昼食 道の駅あびら D51 ステーション→移動 自衛隊バス→解散：札幌駅北口
- ・参加人数：14名(一般会員10名、学生4名、欠席2名)

開催報告

- ・航空自衛隊広報用映像および資料にて、航空自衛隊や隊長沼分屯基地の任務やについて受講
- ・装備品を持ったり、実際に装着して重さなどを体感
- ・高射部隊基地施設およびペトリオット訓練用実機を見学
- ・隊長沼分屯基地で使用している特殊車両を見学
- ・集合写真撮影

ペトリオット訓練用実機を見学



特殊車両を見学



基地山頂にて記念撮影



ラバー銃を持って体感



【本田鷹栖PG見学会_北海道自動車整備大学校】

開催概要

- ・日 時：2022年8月5日11:30～13:00
- ・開催方法：
- ・内 容：紹介映像
コース見学
写真撮影
- ・参加人数：19名

開催報告

- ・30分ほどパワーポイントと動画による施設、企業説明にてHONDAの企業姿勢、テストコースの概要について学習
- ・コース入口の電光掲示板前にて記念撮影の後、高速周回路コース見学、ワインディングコース見学、150Rコース見学を実施。
- ・通常、一般の立ち入りが禁止されているコースの見学という事で非常に貴重な体験となった。



③ 高速周回路

日本や海外の高速道路を再現。乗り心地、操縦性、高速域性能、さらには超高速域での安定性を熟成



⑤ 150R 旋回コース

円状のコース。ドライ、ウェット、スノー路面を造ることができ、進化を続ける車体制御技術(ABS・TCS・VSA・4WD)のテストに対応



⑥ ワインディングコース

スポーツカーのテストにおける聖地、ドイツのニュルブルクリンクがベース。究極の「走る」「曲がる」「止まる」を試練



【いすゞ北海道試験場・ダイナックス見学会_旭川工業高等専門学校】

開催概要

- ・日 時：2022年8月24日11:20～15:00
- ・開催方法：各企業を訪問し、見学を実施する
- ・内 容：企業紹介(IHPG, ダイナックス)
コース見学, 工程見学
写真撮影
- ・参加人数：15名(学生11名, 教職員4名)

開催報告

- ・いすゞ・ダイナックスとも30分ほどパワーポイントと動画による説明
- いすゞ様
・自動運転場バスによる場内走行
・バスに乗車してテストコース・バンクの走行
- ダイナックス様
・クラッチディスク製造ラインの見学
バンクを実際に走ってみる, 稼働しているラインをみることで自動車業界の中の様子を肌を感じる事ができ, 貴重な体験となった.



いすゞ北海道試験場様
テストコース



いすゞ北海道試験場様
ホールにて説明を受講



集合写真



ダイナックス様
クラッチディスク



ダイナックス様会議室にて説明を受講



ダイナックス様社屋前で集合写真

【いすゞ北海道試験場・トヨタ自動車北海道見学会_北見工業大学】

開催概要

- ・日 時：2022年9月8日13:40～15:40（トヨタ自動車北海道）
9月9日10:40～13:00（いすゞ北海道試験場）
- ・開催方法：各企業を訪問し、見学を実施する
- ・内 容：企業紹介、写真撮影
工場見学、ラリーカー見学（トヨタ自動車北海道）
自動運転バス試乗、コース見学（いすゞ北海道試験場）
- ・参加人数：16名(学生14名、教員2名)

開催報告

- ・トヨタ自動車北海道様
ハスカップホールにて企業紹介を受講した後、第3工場（ダイキャスト工程）および第4工場（CVT生産ライン）等を見学しました。
- ・いすゞ北海道試験場様
IPC（いすゞプレミアムクラブ）にて自動車技術会および企業紹介を受講した後、自動運転バスに試乗し自動運転を体験しました。その後、観光バスに乗り換えテストコースを見学しました。



いすゞ北海道試験場のテストコース



IPC前で集合写真



IPCにて支部長より説明を受講



トヨタ自動車北海道_第3工場の見学



ハスカップホールで集合写真



トヨタ自動車北海道所属のラリーカー

【いすゞ北海道試験場見学会_北海道大学】

開催概要

- ・日 時：2022年9月25日10:00～14:30
- ・開催方法：いすゞ北海道試験場の見学・体験
- ・内 容：企業・施設紹介、自技会紹介、安全運転研修、自動運転バス試乗、コース見学、写真撮影
NEXUS（いすゞむかわハウス 独身寮）見学
- ・参加人数：5名

開催報告

- ・動画による会社・施設紹介、支部長より自技会の説明を受けた。
- ・テストコースにて訓練車を実際に運転し安全運転研修を体験。車速を徐々に上げていき、挙動が変化していくことを肌で体感した。
- ・自動運転バスの説明を受け、実際に試乗した。
- ・観光バスに乗り換えて各テストコースを巡った。
- ・新築の独身寮へと移動し昼食、施設見学をした。

ホールにて説明を受講



集合写真



集合写真



安全運転研修

【いすゞ北海道試験場・トヨタ自動車北海道見学会__北海道科学大学】

開催概要

- ・日 時：2022年9月26日 10:40～15:10
- ・開催方法：各企業を訪問し、見学と体験を実施
- ・内 容：企業紹介(IHPG, トヨタ自動車北海道)
コース見学, 工程見学
写真撮影
- ・参加人数：5名（学生3名, 教員2名）

開催報告

- ・両社ともにPPTと動画による説明
- ・IHPG様・自動運転バスによる場内走行
・バスに乗車してのテストコース走行
- ・トヨタ自動車北海道様・CVT製造ライン見学
- ・テスト走行体験や製造ラインを実際に見ることで
自動車業界の様子を感じることができ貴重な体験となった



いすゞ北海道試験場様
テストコース



いすゞ北海道試験場様
ホールにて説明を受講



トヨタ自動車北海道様
工場全景



集合写真

【北海道大学FH-16_大会・公式記録会】

大会概要

- ・日 時：2022年9月6日～10日
- ・開催方法：現地開催・オンライン開催（静的審査）
- ・開催場所：静岡県 エコパスタジアム

参戦報告

- ・昨年度に引き続き静的審査はオンライン開催となりましたが、動的種目の現地開催が3年ぶりに行われ、チームとしては4年ぶりの大会会場での走行を果たすことができました。
- ・アクセラレーション・スキッドパッド種目の出走ができず、エンデュランス種目のリタイヤもあり総合32位という結果となりました。

公式記録会結果	目標タイム	当日タイム	全体順位	前回大会順位
アクセラ	4.442 s	DNS	61/61	11/38
スキッドパッド	5.000 s	DNS	61/61	9/38
オートクロス	60 s	64.104	14/61	4/38
エンデュランス	1450 s	DNF(9Laps)	30/61	4/38

大会結果	大会得点	大会順位	前回得点	前回順位
コスト	12.79/100	42/61	9.08/100	50/61
デザイン	33/150	49/61	64/150	33/61
プレゼン	61.43/75	16/61	54.03/75	19/61



【北海道大学FH-16_マシン設計・製作】

設計

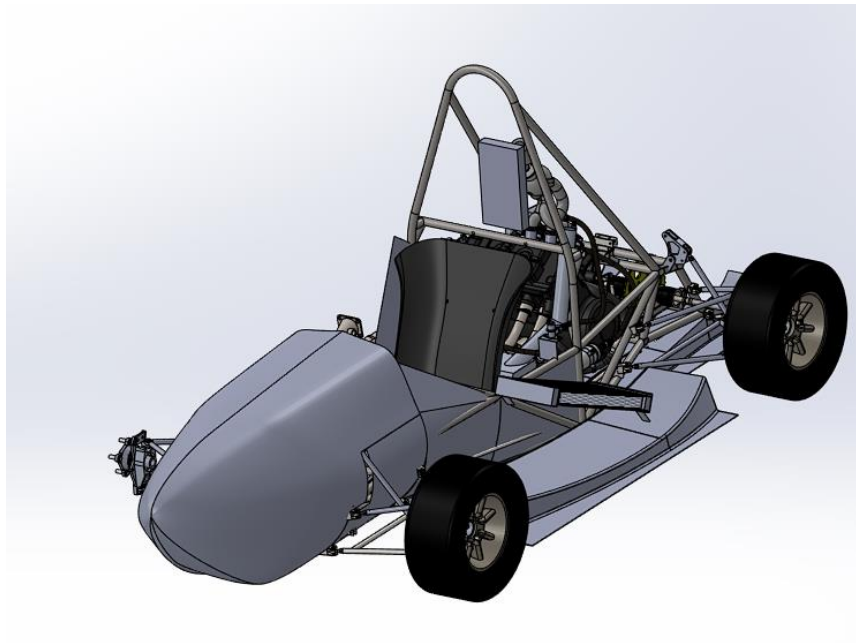
- ・マシンコンセプトを「ドライバビリティの向上」として、各パーツ設計

製作

- ・「信頼性の向上」を目指し、フレームの補強パイプの追加と予備Aアームを製作

設計・製作の結果

- ・活動停止の影響もあり製作活動が満足に行えず、予定していたフレームの再製作などができず、「ドライバビリティの向上」は十分に達成できたとは言えない結果となりました。
- ・来年も引き続き、「ドライバビリティの向上」が必要だと考えております。



【北海道大学FH-16_合宿・テスト走行】

テスト走行概要

- ・学内（ポプラ並木）走行(7/30)
- ・合同試走会@エコパスタジアム(8/10,11)
- ・十勝スピードウェイ様にて合宿を実施（8/16~21）

テスト走行内容

- ・学内でブレーキの慣らしとドライバーの習熟を兼ねてテスト走行を行いました。
- ・弊チームとしては初の大会会場で行われる合同試走会に参加し、ドライバーの習熟とデータの収集を行うことが出来ました。
- ・十勝スピードウェイ様にてテスト走行を行い、セッティングを煮詰めることができました。



【旭川工業高等専門学校】

開催概要

- ・日時：2022年12月20日(火)13:00～17:00
- ・内容：北海道大学チームに加えて2021年度から旭川工業高等専門学校が授業および自主活動として学生フォーミュラカー作製を開始した。
新たにシャシ設計から開始したため車検基礎講習会を実施する。
- ・参加人数：9名（教職員含む）

開催報告

- ・投影資料および配布資料を用いて、シャシ車検について解説（説明）。
- ・2022年版車検シート（EV版）について（説明）。
- ・SES(構造計算書)について解説（説明）。
- ・既製学生フォーミュラカーを用いて車検概要を解説。
- ・質疑応答
- ・集合写真撮影

シャシ車検概要解説



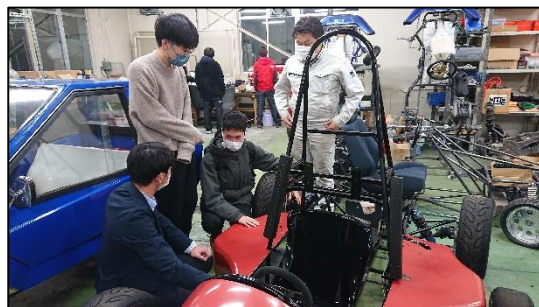
車検シート解説



SES(構造計算書)について解説



フォーミュラカーを用いて解説



集合写真



開催概要

- ・日 時：年間4戦（締切日までに結果を提出）
- ・内 容：グランツーリスモスポーツでのタイムアタック
 - Round1 マツダ ロードスター S (ND)
 - Round2 スバル WRX GR.B RALLY CAR
 - Round3 ホンダ S2000
 - Round4 トヨタ GR86

開催報告

- ・ Round毎に違うマシンやコースとし、ゲーム内でいろいろなマシンを乗り比べてもらいました。参加者には「セッティングの狙いについての一言コメント」を提出していただき、結果とともに公開することで、「速く走るポイント」を共有しました。
- ・参加にあたりゲーム機やゲームソフトを購入しなければならず、正会員5名と学生会員8名の参加でした。

eモータースポーツ北海道支部大会2022 (Round 1)

参加資格：北海道支部所属の「学生会員」もしくは「正会員」

1. 北海道支部ホームページ(参加資格) <https://www.jsae.net/hiroshima/>
 ※学生会員は学生証を提出し、正会員は正会員証を提出し、本人確認をお願いします。

2. グランツーリスモスポーツでタイムアタック
 ・マシン：ロードスター-S (ND)
 ・コース：ドラゴントレイル・シーサイドⅡ
 ・セッティング：自由(セッティングを工夫して性能向上を追求してください)。ただし「パワー」は「軽量化」は変更不可。

3. 「タイムアタック」が得意なドライバーを探しています。タイムアタックの順位についてはこちらをご覧ください。
<https://www.jsae.net/hiroshima/competition/2022/01/01/01.html>

4. 北海道支部で表彰状のデザインを決定し、贈呈予定です。表彰状は別途ご郵送します。

賞品：表彰状
 賞品：Tシャツ
 賞品：マフラー
 賞品：学生会員のみに「表彰状」を郵送いたします。

シーズンチャンピオンについて
 ・2022年シーズン(Round 1からRound 4まで)で順位が1位のドライバーを表彰します。
 ・賞品：Tシャツ、マフラー、表彰状、記念品。表彰状は別途ご郵送いたします。
 ・賞品については、後日、発表します。

eモータースポーツ北海道支部大会2022 (Round 2)

参加資格：北海道支部所属の「学生会員」もしくは「正会員」

1. 北海道支部ホームページ(参加資格) <https://www.jsae.net/hiroshima/>
 ※学生会員は学生証を提出し、正会員は正会員証を提出し、本人確認をお願いします。

2. グランツーリスモスポーツでタイムアタック
 ・マシン：スバル WRX GR.B RALLY CAR
 ・コース：コウナスプリングス・レイクⅡ
 ・セッティング：自由(セッティングを工夫して性能向上を追求してください)。ただし「パワー」は「軽量化」は変更不可。

3. 「タイムアタック」が得意なドライバーを探しています。タイムアタックの順位についてはこちらをご覧ください。
<https://www.jsae.net/hiroshima/competition/2022/01/01/01.html>

4. 北海道支部で表彰状のデザインを決定し、贈呈予定です。表彰状は別途ご郵送します。

賞品：表彰状
 賞品：ボトル
 賞品：グローブ
 賞品：学生会員のみに「表彰状」を郵送いたします。

シーズンチャンピオンについて
 ・2022年シーズン(Round 1からRound 4まで)で順位が1位のドライバーを表彰します。
 ・賞品：Tシャツ、マフラー、表彰状、記念品。表彰状は別途ご郵送いたします。
 ・賞品については、後日、発表します。

eモータースポーツ北海道支部大会2022 (Round 3)

参加資格：北海道支部所属の「学生会員」もしくは「正会員」

1. 北海道支部ホームページ(参加資格) <https://www.jsae.net/hiroshima/>
 ※学生会員は学生証を提出し、正会員は正会員証を提出し、本人確認をお願いします。

2. グランツーリスモスポーツでタイムアタック
 ・マシン：ホンダ S2000
 ・コース：鈴鹿サーキット(フルコース)
 ・セッティング：自由(セッティングを工夫して性能向上を追求してください)。ただし「パワー」は「軽量化」は変更不可。

3. 「タイムアタック」が得意なドライバーを探しています。タイムアタックの順位についてはこちらをご覧ください。
<https://www.jsae.net/hiroshima/competition/2022/01/01/01.html>

4. 北海道支部で表彰状のデザインを決定し、贈呈予定です。表彰状は別途ご郵送します。

賞品：表彰状
 賞品：Tシャツ
 賞品：マフラー
 賞品：学生会員のみに「表彰状」を郵送いたします。

シーズンチャンピオンについて
 ・2022年シーズン(Round 1からRound 4まで)で順位が1位のドライバーを表彰します。
 ・賞品：Tシャツ、マフラー、表彰状、記念品。表彰状は別途ご郵送いたします。
 ・賞品については、後日、発表します。

eモータースポーツ北海道支部大会2022 (Round 4)

参加資格：北海道支部所属の「学生会員」もしくは「正会員」

1. 北海道支部ホームページ(参加資格) <https://www.jsae.net/hiroshima/>
 ※学生会員は学生証を提出し、正会員は正会員証を提出し、本人確認をお願いします。

2. グランツーリスモスポーツでタイムアタック
 ・マシン：トヨタ GR86
 ・コース：マウントレラマ
 ・セッティング：自由(セッティングを工夫して性能向上を追求してください)。ただし「パワー」は「軽量化」は変更不可。

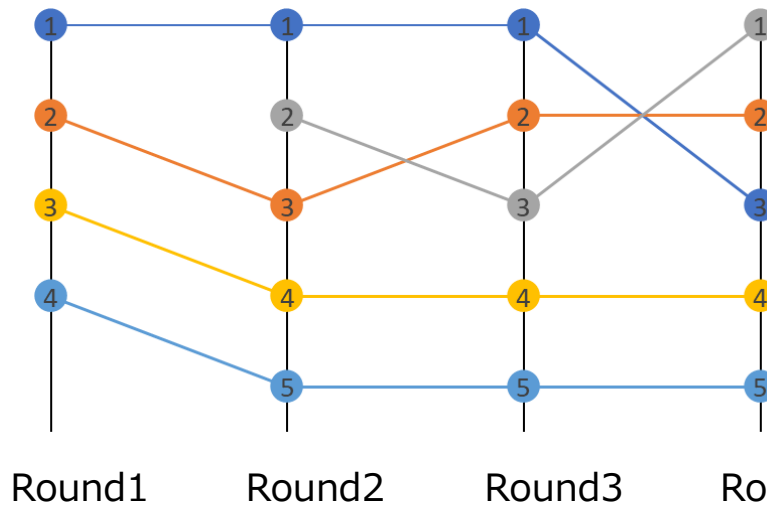
3. 「タイムアタック」が得意なドライバーを探しています。タイムアタックの順位についてはこちらをご覧ください。
<https://www.jsae.net/hiroshima/competition/2022/01/01/01.html>

4. 北海道支部で表彰状のデザインを決定し、贈呈予定です。表彰状は別途ご郵送します。

賞品：表彰状
 賞品：Tシャツ
 賞品：マフラー
 賞品：学生会員のみに「表彰状」を郵送いたします。

シーズンチャンピオンについて
 ・2022年シーズン(Round 1からRound 4まで)で順位が1位のドライバーを表彰します。
 ・賞品：Tシャツ、マフラー、表彰状、記念品。表彰状は別途ご郵送いたします。
 ・賞品については、後日、発表します。

成績推移 (正会員)



成績推移 (学生会員)

